

シラバス

2024年10月1日
社会福祉法人福寿会

| | |
|------|---|
| 科目名 | 1.職務の理解 (合計時間数6時間 講義4時間 / 実習2時間) |
| 指導目標 | 研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。 |
| 教科名 | ①多様なサービスの理解 (時間数 講義2時間) |
| 概要 | ・介護保険制度と多様なサービスについて理解する ・キャリアパスの資格取得要件 |
| 教科名 | ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 (時間数 講義2時間 / 実習2時間) |
| 概要 | ・介護職の仕事と働く場所について ※実習として法人が運営している同敷地内の施設を見学する |

| | |
|------|---|
| 科目名 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援 (合計時間数9時間 講義4時間 / 通信5時間) |
| 指導目標 | 介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解させる。 |
| 教科名 | ①人権と尊厳を支える介護 (時間数 講義2時間 / 通信2時間) |
| 概要 | ・介護職の目標が利用者の尊厳のある暮らしを支えることであることを自覚し、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、虐待、プライバシー等のキーワードをおさえる |
| 教科名 | ②自立に向けた介護 (時間数 講義2時間 / 通信3時間) |
| 概要 | ・自立支援、介護予防という視点を学ぶ |

| | |
|------|--|
| テキスト | ・「二訂 介護職員初任者研修テキスト 第2版」 第1巻+DVD「職務の理解」 |
| 講義室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 演習室 | |
| 実習施設 | ・特別養護老人ホーム平城園、平城園在宅介護支援センター、平城園ホームヘルプステーション 奈良デイサービスセンター、グループホームアクール ・特別養護老人ホームならやま園、ならやま園居宅介護支援センター、 ならやま園ホームヘルプステーション、ならやま園デイサービスセンター |

シラバス

2024年10月1日
社会福祉法人福寿会

| | |
|------|---|
| 科目名 | 3.介護の基本 (合計時間数6時間 講義3時間 / 通信3時間) |
| 指導目標 | 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができるようにする。 |
| 教科名 | ①介護職の役割、専門性と他職種との連携 (時間数 通信1時間) |
| 概要 | ・ 介護環境の特徴の理解 ・ 介護の専門性 ・ 介護に関する職種 |
| 教科名 | ②介護職の職業倫理 (時間数 講義3時間 / 通信1時間) |
| 概要 | ・ 専門職の倫理の意義 ・ 介護の倫理 ・ 介護職としての社会的責任 ・ プライバシーの保護・尊重 |
| 教科名 | ③介護における安全の確保とリスクマネジメント (時間数 通信1時間) |
| 概要 | ・ 介護における安全の確保 ・ 事故予防、安全対策 ・ 感染対策 |
| 教科名 | ④介護職の安全 (時間数 通信1時間) |
| 概要 | ・ 介護職の心身の健康管理 |

| | |
|------|---|
| 科目名 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療の連携 (合計時間数9時間 講義4時間 / 通信5時間) |
| 指導目標 | 介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務についてその概要のポイントを列挙できるようにする。 |
| 教科名 | ①介護保険制度 (時間数 講義2時間) |
| 概要 | ・ 介護保険制度や障害者支援制度について学ぶ ・ 制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割と連携、介護支援専門員、介護福祉士、医療職について学ぶ |
| 教科名 | ②医療との連携とリハビリテーション (時間数 講義2時間 / 通信3時間) |
| 概要 | ・ 医行為と介護 ・ 訪問看護 ・ 施設における看護と介護の役割、連携 ・ リハビリテーションの理念 |
| 教科名 | ③障害者総合支援制度およびその他制度 (時間数 講義2時間 / 通信2時間) |
| 概要 | ・ 障害者福祉制度の理念 ・ 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・ 個人の権利を守る制度と概要 |

シラバス

2024年10月1日
社会福祉法人福寿会

| | |
|------|---|
| テキスト | ・「二訂 介護職員初任者研修テキスト 第2版」 第1巻 |
| 講義室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 演習室 | |
| 実習施設 | |
| 科目名 | 5.介護におけるコミュニケーション技術 (合計時間数6時間 講義3時間 / 通信3時間) |
| 指導目標 | 高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解できるようにする。 |
| 教科名 | ①介護におけるコミュニケーション (時間数 講義1.5時間 / 通信1.5時間) |
| 概要 | ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ・利用者の状況、家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況、状況に応じたコミュニケーション技術の実際 |
| 教科名 | ②介護におけるチームのコミュニケーション (時間数 講義1.5時間 / 通信1.5時間) |
| 概要 | ・記録における情報の共有化 ・報告 ・コミュニケーションを促す環境 |

| | |
|------|--|
| 科目名 | 6.老化の理解 (合計時間数6時間 講義3時間 / 通信3時間) |
| 指導目標 | 加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。 |
| 教科名 | ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 (時間数 講義1.5時間 / 通信1.5時間) |
| 概要 | ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 |
| 教科名 | ②高齢者と健康 (時間数 講義1.5時間 / 通信1.5時間) |
| 概要 | ・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 |

| | |
|------|-----------------------------|
| テキスト | ・「二訂 介護職員初任者研修テキスト 第2版」 第2巻 |
| 講義室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 演習室 | |
| 実習施設 | |

シラバス

2024年10月1日
社会福祉法人福寿会

| | |
|------|---|
| 科目名 | 7.認知症の理解 (合計時間数6時間 講義3時間 / 通信3時間) |
| 指導目標 | 介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解できるよう促す。 |
| 教科名 | ①認知症を取り巻く状況 (時間数 通信1.5時間) |
| 概要 | ・健康な高齢者のもの忘れと認知症はどう異なるのか。認知症の中核症状を理解する ・認知症ケアの理念 |
| 教科名 | ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (時間数 講義1.5時間) |
| 概要 | ・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 |
| 教科名 | ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常 (時間数 講義1.5時間) |
| 概要 | ・認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴 ・認知症の利用者への対応 |
| 教科名 | ④家族への支援 (時間数 通信1.5時間) |
| 概要 | ・認知症の種類とその特徴、健康管理、利用者・家族への支援について学ぶ ・認知症の受容過程での援助 ・介護負担の軽減 (レスパイトケア) |

| | |
|------|---|
| 科目名 | 8.障害の理解 (合計時間数3時間 講義1.5時間 / 通信1.5時間) |
| 指導目標 | 障害の概念とICF、障害者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できるようにする。 |
| 教科名 | ①障害の基礎的理解 (時間数 講義1.5時間) |
| 概要 | ・障害の概念、障害者福祉の基本理念、高齢者介護との違いを学ぶ ・障害の概念とICF ・障害者福祉の基本理念 |
| 教科名 | ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (時間数 通信1時間) |
| 概要 | ・身体障害 ・知的障害 ・精神障害 ・その他の心理の機能障害 |
| 教科名 | ③家族の心理、かかわり支援の理解 (時間数 通信0.5時間) |
| 概要 | ・家族への支援 ・障害の理解 ・障害の受容支援 ・介護負担の軽減 |

| | |
|------|-----------------------------|
| テキスト | ・「二訂 介護職員初任者研修テキスト 第2版」 第2巻 |
| 講義室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 演習室 | |
| 実習施設 | |

シラバス

2024年10月1日
社会福祉法人福寿会

| | |
|------|--|
| 科目名 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術【1.基礎知識の学習】 (合計時間数12時間 講義6時間 / 通信6時間) |
| 指導目標 | 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。 |
| 教科名 | ①介護の基本的な考え方 (時間数 通信2時間) |
| 概要 | ・倫理に基づく介護 (ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除) ・法的根拠に基づく介護 |
| 教科名 | ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (時間数 講義3時間 / 通信2時間) |
| 概要 | ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 ・こころの持ち方が行動に与える影響 ・からだの状態がこころに与える影響 |
| 教科名 | ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (時間数 講義3時間 / 通信2時間) |
| 概要 | ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨、関節、筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・中核神経系と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識 ・こころとからだを一体的に捉える ・利用者の様子の普段との違いに気づく視点 |

| | |
|------|-----------------------------|
| テキスト | ・「二訂 介護職員初任者研修テキスト 第2版」 第3巻 |
| 講義室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 演習室 | |
| 実習施設 | |

シラバス

2024年10月1日
社会福祉法人福寿会

| | |
|------|---|
| 科目名 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術【II.生活支援技術の学習】 (合計時間数53時間 講義26時間 / 通信4時間 / 演習18時間 / 実習5時間) |
| 指導目標 | 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。 |
| 教科名 | ④生活と家事 (時間数 講義3時間 / 通信2時間) |
| 概要 | ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎知識と生活支援について ・生活歴・自立支援・予防的な対応・主体性、能動性を引き出す・多様な生活習慣・価値観 |
| 教科名 | ⑤快適な居住環境整備と介護 (時間数 講義2時間 / 演習3時間) |
| 概要 | ・快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 ※演習として、快適な住まいを提供するための清掃支援についてのポイントを学ぶ |
| 教科名 | ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (時間数 講義3時間 / 演習3時間) |
| 概要 | ・整容に関する基礎知識、整容の支援技術 ・身支度 ・整容行動 ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 ・洗面の意義、効果 ※演習として、衣服の着脱介助を学ぶ |
| 教科名 | ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (時間数 講義4時間 / 演習4時間) |
| 概要 | ・移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移乗、移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・体位・寝返りの介助・ボディメカニクスの応用 ・移乗を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援 ※演習として、移動、移乗の介護方法を学ぶ(車椅子、ベッド、視覚障害者への介助等) |

シラバス

2024年10月1日
社会福祉法人福寿会

| | |
|------|---------------------------------------|
| テキスト | ・「二訂 介護職員初任者研修テキスト 第2版」 第3巻+DVD「介護技術」 |
| 講義室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 演習室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース・多目的スペース・女子便所 |
| 実習施設 | |

| | |
|-----|--|
| 教科名 | ⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (時間数 講義2時間 / 実習2時間) |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・食事にに関する基礎知識、食事環境の整備 ・食事に関連した用具 ・食事をする意味 ・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援 ・食事のケアに対する介護者の意識 ・低栄養の弊害・脱水の弊害・食事と姿勢・咀嚼、嚥下のメカニズム・空腹感・満腹感・好み ・食事の環境整備・食事に關した福祉用具の活用と介助方法・口腔ケアの定義・誤嚥性肺炎予防 <p>※実習として、実際に特養利用者への夕食の食事介助を行う</p> |
| 教科名 | ⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (時間数 講義3時間 / 実習3時間) |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ・足浴、手浴、洗髪 ・羞恥心や遠慮への配慮・体調の確認・全身清拭・目、鼻腔、耳、爪の清潔方法・陰部洗浄 <p>※実習として、実際にデイサービス利用者への入浴介助を行う</p> |
| 教科名 | ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (時間数 講義4時間 / 演習5時間) |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ・排泄の仕組み ・排泄の介助1 ・排泄の介助2 <p>※演習として、排せつに関連した介護について学ぶ。おむつ体験（簡易的）</p> |
| 教科名 | ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (時間数 講義3時間 / 演習3時間) |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境整備と用具の活用方法、快適な睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ・睡眠の仕組み ・睡眠について ・安眠とは <p>※演習として、睡眠に関連した介護について学ぶ。ベッドメイク、ベッド上での介助</p> |
| 教科名 | ⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 (時間数 講義2時間 / 通信2時間) |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援 |

シラバス

2024年10月1日
社会福祉法人福寿会

| | |
|------|---|
| テキスト | ・「二訂 介護職員初任者研修テキスト 第2版」 第3巻+DVD「介護技術」 |
| 講義室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 演習室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 実習施設 | ・特別養護老人ホーム平城園、奈良デイサービスセンター |
| 科目名 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術【Ⅲ.生活支援技術演習】 (合計時間数10時間 講義8時間 / 通信2時間) |
| 指導目標 | 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。 |
| 教科名 | ⑬介護過程の基礎的理解 (時間数 講義3時間 / 通信2時間) |
| 概要 | ・介護過程の目的、意義、展開 ・介護過程とチームアプローチ |
| 教科名 | ⑭総合支援技術演習 (時間数 講義5時間) |
| 概要 | ・生活の各場面での介護について、ある状態の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。 ・事例検討の意義 ・事例検討の効果 ・援助方法の見直し |

| | |
|------|---|
| 科目名 | 10.振り返り (合計時間数4時間 講義4時間) |
| 指導目標 | 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得できるようにする。 |
| 教科名 | ①振り返り (時間数 講義2時間) |
| 概要 | ・研修を通して学んだこと・今後継続して学ぶべきこと・根拠に基づく介護についての要点 ・利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体、心理、社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性 |
| 教科名 | ②就業への備えと研修終了後における継続的な研修 (時間数 講義2時間) |
| 概要 | ・継続的に学ぶべきこと ・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例を紹介 |

| | |
|------|--|
| テキスト | ・「二訂 介護職員初任者研修テキスト 第2版」 第3巻+DVD「職務の理解」 |
| 講義室 | ・特別養護老人ホームならやま園 地域交流スペース |
| 演習室 | |
| 実習施設 | |